

重点整備地区の選定

資料 2 - 1 の各項目の評価等を踏まえ、以下の地区を重点整備地区として定める。

●押上駅・錦糸町駅周辺地区

【押上駅周辺地区】

- ・東京スカイツリー等の大規模な商業施設やすみだ共生社会推進センターのほか、すみだ福祉保健センター等の福祉施設が立地しているため、駅等からの移動経路等のバリアフリー化が必要である。
- ・東武鉄道伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業とその周辺における街路整備事業が実施されているため、各事業と連携しながらバリアフリー化を進める必要がある。
- ・区民アンケートでは、押上駅の利用者からの回答割合が多いことから、関心の高い地区と考えられる。
- ・効果要件のとおりの高齢者、乳幼児、障害者の人口が他地区より多い。

【錦糸町駅周辺地区】

- ・アルカキット錦糸町等の大規模な商業施設が複数立地し、ハローワーク墨田やすみだ障害者就労支援総合センターのほか、都の地域災害拠点中核病院である墨東病院が立地しているため、駅等からの移動経路等のバリアフリー化が必要である。
- ・区民アンケートでは、錦糸町駅や錦糸公園の利用者からの回答割合が多いことから、関心の高い地区と考えられる。
- ・地下鉄 8 号線（豊洲－住吉間）の延伸に伴い、錦糸町周辺のまちづくりの検討が進められているため、まちづくりに合せたバリアフリー化を進める必要がある。

【両駅共通事項】

- ・駅乗降者数及びバス運行本数が他地区より多いことやアンケートで駅周辺等の歩道に関する意見が多いことから、施設間を結ぶ連続したバリアフリー整備の効果が高いと考えられる。
- ・両駅周辺地区の間にすみだ保健子育て総合センター及び賛育会病院が立地しており、両駅からの移動経路のバリアフリー化が必要である。

●曳舟駅・京成曳舟駅周辺地区

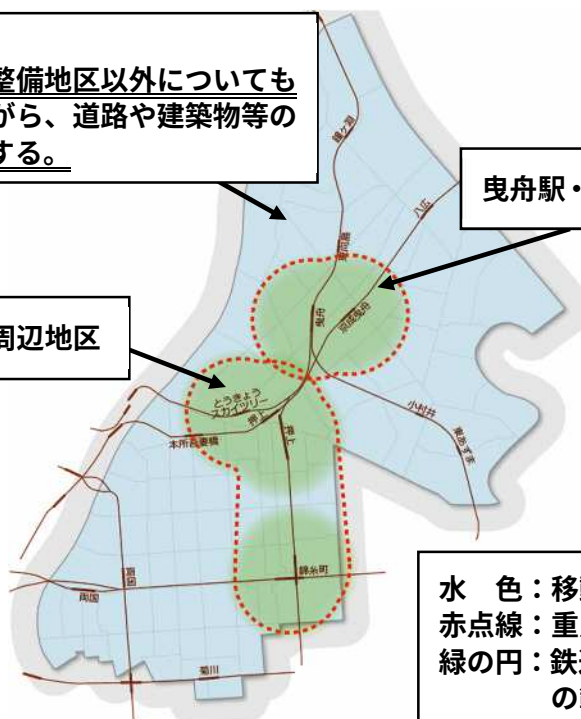
- ・公共施設や病院、学校が複数立地しており、駅等からの移動経路等のバリアフリー化が必要である。
- ・区民アンケートでは、曳舟駅と京成曳舟駅の利用者からの回答割合が多いことから、関心の高い地区であると考えられる。
- ・効果要件のとおりの高齢者、乳幼児、障害者の人口が他地区より多い。
- ・東武曳舟駅周辺地区まちづくり方針を策定中であり、今後、市街地再開発事業とともに、補助 3 2 6 号線（曳舟たから通り）の拡幅整備にあわせた駅前交通広場の整備が予定されているため、各事業と連携しながらバリアフリー化を進める必要がある。
- ・墨田区交通バリアフリー基本構想（H16）で重点整備地区と定めている。

【移動等円滑化促進地区】

区全域を位置付け、重点整備地区以外についても関連計画と整合を図りながら、道路や建築物等のバリアフリー整備を推進する。

押上駅・錦糸町駅周辺地区

曳舟駅・京成曳舟駅周辺地区



水 色：移動等円滑化促進地区の範囲
赤点線：重点整備地区の検討対象範囲
緑の円：鉄道駅を中心とした半径 500m の範囲